

(3) B5サイズの個人新聞を制作する。

学び方カードで新聞制作のポイント、視点を確認してから制作活動に入りました。

- ① B5版で3段抜きを基準とする。
- ② 交換した資料、記録を十分活用する。
- ③ 主題、誰に読ませたいのかを明確にする。
- ④ 資料の丸写しではなく、自分なりに解釈・吟味して自分の言葉で書く。
- ⑤ 見やすく、読みやすく、説得力のあるものにする。
(タイトル、見出し、レタリング、構成の工夫)
- ⑥ 自分の考えや主張を必ず入れる。

Point: 学び方カード 調べ学習や体験的な活動では、「学び方カード」の作成・活用が有効です。

- ◆ 学習技能の指導では、ともすると方法的なものに偏りがちですが、内容的な事項と合わせて、「何を」「どのように」をセットにした学び方が大切です。
- ◆ 学び方カードをいつまでも当てにしたり、いつも示された方法でしかできなかつたりでは、「学習の自立化」は図れません。あくまでもきっかけづくりとして活用していくことが大切であると考えます。

2 第一次
交流活動
(1時間)
個人新聞の
相互評価

(4) 自分の新聞の自己評価をする。

右の評価カードに自分の訴えたかったことを記述し、新聞らしさ、見出しの工夫、わかりやすさ、自分の考えの4つの観点を4段階で評価しました。

(5) もとの「調査班」に戻り、相互評価し、自分の新聞の見直しを図る。

「調査班」の4人の中で、自己評価と同じ観点から相互評価をしました。この段階では、自分の考えや主張が明確でないなどの改善点が多く見られましたが、自分とは違う視点や考え方に接することで、次の第二次制作への意欲が喚起されました。さらに、新聞制作の過程で生まれた疑問点や新たな発見についての話し合いにも発展し、「自分はこう思う。」という発言が多く聞かれました。

(6) 「先生と交流しよう」という時間を設定し、教師との意見交流を行う。

各調査班と教師の意見交流も行いました。生徒たちは、教師の指摘によって新聞づくりの新たな視点を見つけることができました。

3 第二次
制作活動
(2時間)
B4サイズの
新聞制作

(7) B4サイズの個人新聞を制作する。

この段階でB4サイズの個人新聞を完成させます。大きさが倍になり、何を書こうかと迷うところですが、この時点で問題意識も高まり、制作の視点も明確になった生徒が多く、一気に仕上げていく姿が見られました。

< 学び方カード >

環境学習 No.6
「新聞記者になって、社会科新聞「環境問題特号」をつくらう！」
社会科新聞の制作について

今回は、身の調べ学習、交流活動の成果を生かしながら、社会科新聞(個人新聞)をつくります。社会科新聞の制作は、社会科が得意な力を磨くことのできる学習の機会の一つでもあります。自分の持っている力を結集させて、工夫しながらチャレンジしましょう！また、「新聞制作班」のメンバーにも意見を求めながら進めていこう。

第一次制作について
まずは次のポイントをご記憶だけおさえて作ってみよう！

- 1 B5版で3段抜きを基準とする。
- 2 交換した資料をよく読んで、何を主題に作るかを明確にする。
- 3 資料を丸写しにするのではなく、自分なりに解釈したり吟味したりして、自分ならではの書く。
- 4 新聞は伝えることを目的としているので、見やすく、読みやすく、説得力のあるものにする。
① タイトル、見出しに特色を出す。レタリングを工夫する。
② 記事の組合わせ・レイアウトを工夫する。
③ 統計資料、イラスト、資料等を効果的に入れる。
- 5 自分がどのような問題意識を持っているか伝わる内容にする。自分の考えや主張を必ず入れる。(編集後記)には、必ず自分の考えを入れる。)
 - ① 新聞配分を考え、指定された時間の中で仕上げようとする。

第二次制作について
今回はいよいよ新聞づくりの学習です。

- 1 調査班での第一次交流(新聞の相互評価)の結果から、自分の新聞をよく見直す。
特に改善点ははっきりさせることが大切。
- 2 B4版で、5段抜きを基準とする。
- 3 作業のポイント「第一次制作について」をもう一度よく読んでみよう。

自分の持っている力を結集させて、よりよい新聞をつくらう！

新聞・見出しの工夫 読みやすさ
自分の考え・主張 ていねいな仕上げ

< 新聞の評価カード >

環境学習5 【1次制作】 組長 氏名 _____

1 1次制作の新聞を自己評価しよう
(1) 自分が特にこの新聞で訴えたかったこと
環境破壊は「人間がkka進めてるんち」ということ。

(2) 次の項目についてあてはまるものに○をつける
A たいへんよい B よい C あまりよくない D よくない

① 新聞らしさ	A	B	○	D	自分の考えを書き入れた
② 見出しの工夫	A	B	C	○	自分よりさらに、おもしろくした
③ わかりやすさ	A	B	○	D	自分よりよさげ
④ 自分の考え	A	B	C	D	自分考えは入れた。

2 はじめの調査班にもどう【わたしは オープン です】
(1) 隣の3人に自分の新聞を評価してもらおう 一紙書いてもらうこと

読んでもらった人	項目別評価				読んだ人がよい点(○)とアドバイス(●)をそれぞれ書いてください
	①	②	③	④	
	B	B	B	C	誰か読んでみようが「見出しがふせうしい」 ● 自分も書いてみよう
	C	B	B	C	見出しがふせうしい ● 考えを入れた(ほげ)!!!
	B	B	C	C	見出しがふせうしい ● 65の考えをいって入れたがよい

※項目別評価は1の①の項目と同じで、A、B、C、Dで評価すること。

(2) 最後に、みんなの意見をもとに考えたことを書きなさい
まるで読みたいで「自分の考えがなかったで」
もっと、問題の事を理解して書きたいと思つた。